



オーストラリア

西シドニー大学短期英語研修プログラム 体験談

A 類学校教育選修 小淵和香子

留学時の学年：1 年

期間：2019 年 9 月 14 日～10 月 13 日

【参加理由】

① 自分の世界・視野を広げる

自分とは違う文化や言語の人とたくさん関わって色々な考え方や生活スタイルの触れることで、自分の中の世界を広げたい、という思いから参加を決意しました。中高では部活動というただ一つのことに熱中し、それはそれで自分にとってかけがえのない経験だったと感じています。だからこそ、大学生になった今は、今度は世界を広げること、なるべく多くの挑戦や経験をすること、を大切にしたいと思いました。



② “新たな挑戦”の意義

私はこの留学をするまで留学やホームステイをしたことがなく、海外に行ったことすらありませんでした。また、中高と英語が大の苦手な科目でもありました。そんな中であえて海外に行くこと、英語の研修に行くこと、外国の人と一か月英語で関わること、のすべてが自分にとって新しい挑戦でした。そのような新たな課題を自分に課すことに意味があると思い、今回の参加を決意しました。

③ 英語力向上

大学に入って、中々英語に触れる機会もなく、また英語苦手を克服したいとの思いもあり、参加をしました。また、実際の留学に行くことは単なる英語の学力だけでなく、コミュニケーションをとる上での英語力の向上に繋がると思いました。

【学校生活】

西シドニー大学では、英語を母国語としない生徒の語学クラスに入りました。初日のテストを元にレベル別(易しい方から EAP1～5)に分けられました。私は EAP 4 で一か月間授業を受け、Academic English について詳しく学びました。クラスには、中国、台湾、韓国、インドネシア、ラオス、ブラジル、ベトナムなど、色々な国の生徒が 15 人ほどいて、皆英語で話しながら学びました。授業では、単語・発音から接続詞や文法、writing や presentation に至るまで、様々なことを学びました。特に Oral Presentation では、方法について学ぶだけでなく、実際に色々な国の生徒の前で Presentation や質疑応答をするこ





とで、どのように話せばよいのか、どのように英語で物事を伝えればよいのかを身をもって学びました。また、Survey Report の課題では、アンケートやレポートの構造を一から学び、実際に書いてみることで、今まで知らなかったような Academic な英語の文章の書き方を習得しました。授業全体を通して、Discussion の時間が多かったため、相手の英語を聞き取る力や、英語で自分の伝えたいことを伝える能力が身についたと思います。特に Speaking では、初めのうちは頭で思い描いた日本語の文章を英語に変換して話していましたが、日を重ねるにつれて言いたいことが英語で出てくるようになりました。また、授業中はどんどん発言していくスタイルで、消極的では通用しないため、積極性も得られたと思います。

【学校以外の生活～ホームステイ、休日】

ホームステイ先は、6、12、20 歳の三姉妹とそのお母さんと犬、という家庭でした。基本的には夕飯を共にし、その後一緒にお茶をしながら話したり、リビングで映画を見たりしました。私の部屋を用意してくれており、学校から帰った後やお風呂後は一人で過ごす時間もありました。コミュニケーションがうまく取れずもどかしい時もありましたが、気さくに話しかけてくれ、休日には一緒に折り紙をしたり、サイクリングをしたりしました。色々な思い出ができて、別れるときには涙が止まりませんでした。



授業は午前中のみだったので、午後はクラスメイトとお昼を食べたり、大学で宿題をしたり、シドニーに観光や買い物に出たりして過ごしました。西シドニー大学の日本文化に興味がある学生と関わる機会もあり、その活動に参加する日もありました。



休日は、ホームステイ先の家族と過ごしたり、学芸大から参加している他のメンバーと少し遠出をしたりして過ごしました。私は、タロンガ動物園やオペラハウス、ブルーマウンテンに行きました。シドニーは、マーケットや自然がとても多く、色々な観光地を楽しむことができました。



【参加を通じて～これからの挑戦】

本当に毎日が新しい発見と挑戦に満ちていて、あっという間の一か月でした。英語が聞き取れなくて悔しかったり、慣習がわからず戸惑ったりすることもありましたが、その都度学んでそれが次できた時の達成感は今までに感じたことのないくらい大きなものでした。

また、私は現在 A 類で主に小学校の学校教育について学んでいるのですが、この留学で実際に All English の授業を受けたことで、今まで考えたことがなかった小学校における英語教育に興味を持ちました。そのため、今後は小学校の教師を目指すと同時に、必修化する小学校の英語教育を実際にどのように進めていくべきなのか、小学校教師はそれに対してどのように対応していくのか、を学び、小学校における英語教育の先頭に立つ小学校教師になりたいと考えようになりました。また、様々な国の仲間と関わったことで、言語や文化の違いを超えて友情関係を築くことができると学んだ一方で、文化の違いやそれによる認識の違いもあることを知りました。そこから、学級に日本以外の国にルーツを持つ子どもがいた場合、教師はどのように対応すべきかを学びたいとも思いました。このように、留学で学ぶことだけでなく、“留学をきっかけに学ぶこと”が見つかったことも、私にとって大きな収穫でした。

ホームステイ先や西シドニー大学での友人だけでなく、学芸大から参加した他のメンバーとの出会いも私にはとてもかけがえのないものとなりました。学年も学科も違い、ここに参加しなかったら出会えなかったような人たちからたくさん話をきくことができ、自分に大きな刺激を与えられました。ここで出会ったメンバーとは帰国後も親交が続いており、今でも刺激をもらっています。



【参加を考えている・迷っている方へ】

本当に毎日が新しい発見と挑戦に満ちていて、あっという間の一か月でした。2019 年度の参加者は 1~4 年生までと幅広く、学科や現在している部活動・活動も本当に様々で、参加に遅い早いも、向き不向きもないと感じました。英語力はもちろん、それ以外のところにも本当に様々な発見があり、今の自分、そして今後の自分の生き方についてもじっくり考えられる、そんな一か月になると思います。また、参加することで現在やっている他の活動や今の生活に支障が出ることに懸念もあると思います。私もそうでしたが、実際一か月参加することで、改めて今の生活に向き合うこと、今関わっている人や事の存在に感謝することができました。帰ってきてからも、この一か月で得たことや感じたことが生きているように思います。それぞれがその人なりの刺激と成果を得られるプログラムだと思うので、ぜひ参加おすすめします。

